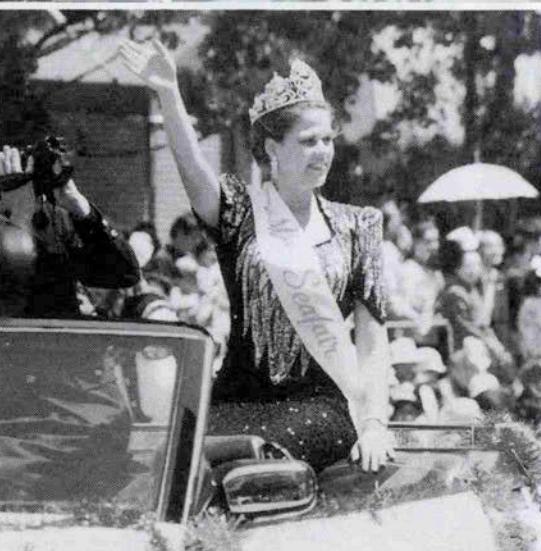


神戸まつりの 美女たち

アーバンリゾートフェア神戸'93の開催中に繰り広げられた第23回神戸まつりは、"ハーレタ空!"と唄いたくなる程の快晴。5月14日から始まって、16日の日曜日。最高潮は、フランクリードのメインパレード。今年は、フェアにふさわしくサンバを派手にと、三宮のそごう前に舞台が設置され、正午から夜の8時まで。各サンバチームもよく頑張って、唄つて踊つて凄い活気。月刊神戸っ子サンバチームも、コバカバーナのブラジルチームと日伯競演。元町、フランクリード、センター街と踊りぬいて"フランクリーツサンバ"を、フローリーちゃんと共にパレード参加。限りなく透明な空のもと、だんじりや、各国のフロートなどを彩る、神戸の美女たちの笑顔が、何にもまして神戸まつりの明るいイメージとエネルギーを創出していた。

(小泉)







時計まわりにセンター街を行くサンバチーム、おまつりパレードに参加。サンバチームの花自動車、フローリーちゃんも参加

★月刊神戸っ子サンバチーム／'93神戸まつりに

まつりが近づくと
もう、止まらない！

松山 雅子／神戸ネオトロピカル・ダンス教室事務局長・▽

まつりに理屈はいらない、私にも踊れます。一二三四、一二三四、サンバを踊る度に少しづつ年を捨て肩の力がスッと抜け自然体でいる自分を発見し、神戸っ子らしく遊び上手になっていく。一二三四、一二三四、腰が勝手に動き出す、無条件で楽しめる。さあ、あなたも御一緒に、一二三四、一二三四、誰も私を止めないで。お願ひヨ！



今年も“まつり”に燃えた神戸JC

創立35周年の神戸JC 神戸まつりでも大活躍

明るい豊かな社会づくりをめざす社団法人神戸青年会議所（橋本哲夫理事長）は今年35周年を迎えたが、神戸まつりにも積極的な取り組みを見せて。

まず五月十五日には、メリケンパークにて「神戸JCシーサイドコンサート」。過去五回開催のコン

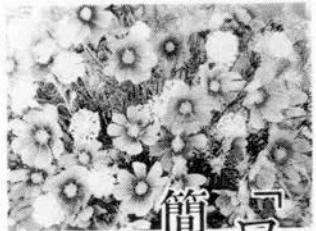
サートとは異なり、地球の資源、環境を考えもらおうと、コンサート参加者に古着を提供してもらい、これを発展途上国に寄贈するという観客参加型イベント。一万五千人が参加、六千着の古着が集つた。

翌十六日には、神戸JC恒例の「そろいだんじり」。東明、弓場、西御影、和田宮、星和台各地区から約七百人が参加、だんじり広場とおまつりパレードで、その勇壮な姿を市民に披露した。

またこの日には、メリケンパークで「メリケンパークJCお祭リストリート」も開催。来年に迫った世界会議のアピールも行い、神戸市内の養護施設の子供三百人が招待された。一方、メリケンパーク南東シーサイドでは「ストリート・バスケット・ユース」大会が開催され、神戸JCからは「メリケンパークJCお祭リストリート」大会正樹とゲストのかまやつひろし、いなせな男、ぶりを披露した「そろいだんじり」が町を練り歩く、「神戸JCとは何か」を市民にアピールした。

△時計まわりに「ストリート・バスケット・ユース」大会、シーサイドコンサート出演の上田正樹とゲストのかまやつひろし、いなせな男、ぶりを披露した「そろいだんじり」が町を練り歩く、「神戸JCとは何か」を市民にアピールした「メリケンパークJCお祭リストリート」

「ワキガ」「多汗症」は 簡単に治せる!



- ◆ 小国フェザーリング吸引法
- ◆ 皮下組織剥離法
- ◆ 切開法

ワキガ・多汗症の治療は3種類あり、個人に合った方法で手術しますので再発や取り残しの心配はありません。

ワキの下に『アポクリン汗腺』『エクリン汗腺』『皮脂腺』があり、そこに身体のアカ等が混ざり、独特の臭いを出します。ワキガの人は普通の人の30倍も50倍の汗腺があるので手術によって普通の人の状態の汗腺に戻します。

遺伝的にも両親の片方がワキ

ガの場合50%、両親ともワキガの場合80%が遺伝します。

また、ワキガは食べ物と大いに関係があります。ファーストフード店で食事を済ませたり、インスタント食品、レトルト食品を食べすぎるのは避けた方が良いでしょう。脂肪分を多量に含んだ食事をしていると皮脂腺が肥大し、アポクリン汗腺が発達してくるのです。現在の食生活を見直す時代が来ています。



小国クリニック院長
小国英昭

■日本美容外科学会正会員 ■日本医師会A会員
■大阪府医師会正会員 ■北区医師会正会員
■昭和大学麻酔科研究員

美容外科・泌尿器科・形成外科

医療法人 オグニ
小国クリニック

■大阪本院
大阪市北区堂山町17-15
若原ビル4F 〒530
☎06-365-0123

J R 大阪駅、阪急梅田駅より徒歩5分。
ナビオ阪急、東へ徒歩2分。

■姫路カウンセリングルーム
姫路市南駅前町91 森田ビル2F
☎0792-84-4060 〒670
J R 姫路駅南出口スグ
※当相談室では、診察などの医療行為は一切行っておりません。

◆直接院長迄お手紙を下されば、貴女の御相談にお答えします。（プライバシー厳守のため個人名で後日返送）◆相談は一切無料です。◆ご来院の場合は事前に電話予約をお願いします。

診 療 科 目

- 目…………二重まぶた（埋没法・切開法）/目尻/目頭切開
- 鼻…………隆鼻/低鼻/小鼻縮小/鼻尖形成
- 脣の輪郭……エラ削り/あご/こめかみ/額
- 脂肪吸引……顎全休から足首にいたるまで（二重あごなど）
- 胸…………豊胸/乳房縮小/陥没乳頭/乳頭縮小/バストアップ
- シワ取り……顔全体/首/腰/その他
- その他……ピアス/儀跡/TATTOO/ホクロ/婦人科/泌尿器科/ワキガ（ワキガ医学研究所併設）

美しい歯並びは、
お口の健康の大切なキーポイント



当院は、歯科矯正の専門医院です。

歯並びが悪いと、口元の美感を損なうだけでなく、虫歯や歯ぐきの病気にかかりやすくなったり、頭痛、肩こり、胃弱をひきおこす原因となることもあります。矯正治療は小中学生の頃に行なうことが多いのですが、大人になってからでも治療は充分可能です。噛み合わせの一部分を治すだけでも、大変良い結果が得られる事が多々あります。これらの方が気になる方は、是非一度ご相談下さい。

◆診療時間

午前10時～12時30分
午後2時～6時30分

◆休診日

木曜・日曜・祝祭日

TEL・078-332-5735

神戸市中央区北長狭通1-2-2 エビスビル8F
〒650 (阪急三宮駅東口北側出口向い)

吉田矯正歯科クリニック

◆育成医療指定医療機関

からだキレイになる

スタイル自慢になる

ボッチャリしたホホ、太い腕、ぶっくらした下腹部が気になる人は、最新脂肪吸引法（HIM法）で余分な脂肪を取ります。もちろん大きなお尻、太ももやふくらはぎについていた脂肪も脂肪吸引で取り除けます。安全で確実、二度と太る心配もありません。費用は顔やせ、38万円、腕・ふくらはぎ38万円、お腹・お尻・太ももは38万円～58万円。

気になるワキガ、毛深い手足も

春や夏になれば、当然、肌の露出が多くなります。そんな時、ワキガだったり、毛深い手足だったら・・・。ワキガはにおいの元であるアポクリン腺を吸い出せば、ほほ解消できますし、毛深い人は安全確実な「永久脱毛」ですっきり解決できます。費用はワキガ(吸引法)12万円、永久脱毛は30万円～。

*カウンセリングは無料

唇	(上 下)	25万円
赤ら顔	7～10万円	
ワキガ(吸引法)	12万円	
でへそ	20万円	
顔やせ	38万円	
脂肪吸引	腹部	38～58万円
	太腿	38～58万円



After Before

神品川美容外科形成外科

●24時間無料テープ案内 0120-006477

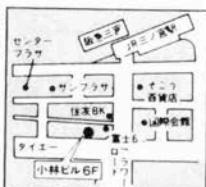
☎078(331)7183(女性)

☎078(331)4102(男性)

診療時間/AM10:00～PM7:00(年中無休)

大阪 06 (312)1420(女性)

京都 075(344)3386(女性)



神戸市中央区三宮町
1-3-3 小林ビル6F

■新しい地域共生社会をめざして

つくつてみませんか “こころのふるさと”を ——ふるさと青年協力隊・ふるさと少年協力隊

お話を伺ったひと
丹野 宏幸さん
△(兵庫県青少年本部事業部
課長)



平成二年度から始まつた“ふるさと青年協力隊”。今年は大好評のうちに四年目を迎えます。

「最初は人が集まるかどうか」ということすら不安だったのですが、今では予定数の一、三倍の応募があり、また、受け入れ側からも“してもらつてよかつた”的声が多く、都市農村交流は成功といえるでしょうね」と、助兵庫県青少年本部事業部の丹野さん。『ふるさと青年協力隊』は都市部の青年を但馬地域へ派遣し、人々との交流や共同作業を通じて、地域の活性化に貢献するとともに、青年がこれらの体験を通じて、視野を広げ、自分自身を見つめ直すきっかけになることを目的とした兵庫県独自のシステムです。過去の活動例として、芝桜公園整備やコスモス街道づくりなどの全体作業、道路除雪やツツジの植樹などの地区奉仕作業、老人世帯訪問などの福祉作業やボーネーステイなどを行っていますが、三泊四日以上の滞在中で青年たちは確実に何かをつかみ取るようです。

また、「かなりハードな作業だったが、完成できた」と喜びを感じている。「第一のふるさととして今後も交流を続けたい」などの声が集まつて結成されたのがふるさと青年協力隊OB会です。県の事業としての手を離れた、より広く多様な自主活動として、都市と農村

との交流を一層深める活動が期待されます。

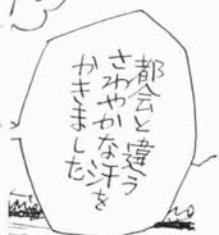
それとともに今、進めているのは“ふるさとづくり若者バンク”的設置です。各市町の派遣要望に応じられるよう、OB会による呼びかけなど、都市部の青年を募集登録します。地域のイベント、例えば来年催される“但馬・理想の都の祭典”などで大きな役割を果たすことが期待されています。

そして今回新たに派遣される“ふるさと少年協力隊”。小・中・高生で構成される少年団体を対象に、奉仕作業や交流などを通じ、早い時期からの社会参加を促します。農山村のぬくもりの中での新しい体験は、都会っ子の中に一層の輝きを与えてくれるでしょう。都会と農山漁村、動きとやすらぎ、若者と老年者、若い感性と生活の知恵。それそれが歩み寄つてこそ生まれる、こころの豊かさがあります。“ふるさと青年協力隊”しさを発見できる場所なのです。

(夏期隊員募集は両隊とも七月十日まで
(秋季隊員募集の案内も行います)
お問い合わせは
助兵庫県青少年本部事業部
☎〇七八一三三三一一二六一

ふるさと
青年協力隊

たかひ



体験ば 感動の青

会社 ガミ

自然な友にし
てはいる老人の話
友が都会の人を
させられる

またまーす

遊びなどしか
しないよと思つた
あくまで働くの

うまいやつ
がいるとい
うのが出る
なア：

一度来たら
こりるかと思つ
たのにねエ；

『神戸文化の明日をつくる拠点 「カルチャーコア」づくりを

□座談会出席者（敬称略・順不同）

米花

稔

〈神戸大学名譽教授
福山大学経済学部教授〉

小笠原 晓

△芦屋大学教授▽

島田

誠

〈株海文堂書店
代表取締役社長〉

武田 則明

△建築家▽

司会 都市の活性化には従来、技術産業の育成や都市型工業の振興誘致に力点がおかれてきました。しかし時代の要請、そしてこれから神戸にはむしろソフト産業の育成振興こそが大切です。文化というものにいかに投資することができるかが、その都市の行方を決めるのではないか。今こそ、地域文化創造の拠点として、いわゆる「カルチャー・コア」の設定が必要と考えられます。本日は各分野でご活躍の皆様のご意見をいただき、民間サイドからの提案をしていきたいと思います。

★文化のソフトとハード、行政と民間の接点をどうする米花 「月刊神戸っ子」はこれまでソフトの交流の場を随分つくってこれましたね。街の規模の差かもしれないが、神戸には大阪と比べて異なる分野の人々の交流の場が多くあります。それをもう一步進めて都市の何所かに交流の場、コアを設置し、目につく所で展開してほしい。カルチャー・コアとは、ソフトとハードの接点であると私は解釈しています。

小笠原 カルチャー・コアの話を、ということです。思い出したのは、パリのポン・ピードーセンターです。ギヤラリーモークス。演じる側も見る側も生き生きと楽しんでい

ます。神戸では、東遊園地で見かけたことはあります。が、ストリート・パフォーマンスは非常に少ないです。日本の道路には殆ど全部、規制がかかっていますからね。

新宿副都心が出来た頃、駅の出口付近でパフォーマンスが始まりましたが、すぐに道路交通法の規制がかかってやめさせられました。場所さえあればそこがカルチャー・コアになり、若者が集まり、お店も儲かるんですがね（笑）。神戸では誰も仕掛けない。ハーバーランドやオーパ付近など、規制のないスクエアもあるのに。襟を正して入る博物館や美術館もいいけれどカルチャー・コアは皆が気軽に楽しめる、出入りできる場であるべきです。

武田 私はハード屋なので、そちらの提案が多くなるかと思うんですが（笑）。神戸には以外とホールが少ない。しかも行政区画ごとにホールをつくっていくので、区ごとに同じような小さい多目的ホールばかりができるてしまう。それよりは9区に各々特徴のあるホールを、例えばロック専用とか、演劇専用、日舞専用といった個性的なホールをあちこちに作るのも面白いんじゃないですか。カルチャー・コアにしても同じです。地域ごとに特性のあるものを考えていいたい。

それからアトリエ住宅を提案したいです。マンション



武田 則明さん



島田 誠さん



小笠原 晓さん



米花 稔さん

を建てる時、その最上階の天井を高くしてアトリエにするんです。そして芸術家に安価で貸す。街の一角でいい、そういうエリアをつくれば、アートビレッジになりますよ。絵描きだけでなく、防音設備の必要な音楽家もとびついて来るでしょう。

島田 神戸のハードの整備は、それでもある程度進んできましたね。新しくできた建物ほど、ノウハウをつかんで、良いものになってる(笑)。この辺で、そろそろソフトラジオの方にお金をかけ何をやりたいのか目的を明確にする時期にきてると思います。ニューヨークやパリなどは、やはり芸術家に対する懐の深さが違いますよ。

区民センターは区民に公平に解放されるべきものなので、一般的にならざるをえないと思います。ですからそれとは別に専用ホールを考えていかなければ。ただ、今街づくりのやり方は、とりあえずハードをつくっておいて、さてそこで何をやろうかと後で考える、ハード先行型になってしまっている。キヤナルタウンの室内楽専用ホールにしても神戸室内合奏団や、地元の演奏家とどう関わりを持たせ、情報発信をしていくのか、そのところが課題でしよう。施設も人間と同じように成長していくものだと思うんです。成熟させるためのプログラムを組んでいかねばなりませんね。

小笠原 西宮では酒蔵の街にマンションが建つて変わりつつあるんです。神戸にも酒蔵はあるでしょう。酒蔵は案外防音効果が高いですから、改めて音楽ホールや練習場にして残すことができればと思うんです。音楽家は練習場所に困っていますから、安く提供すれば、きっと集つて来ます。

武田 地域に密着した酒造博物館が、灘には沢山ありますね。山の方に上がれば香雪美術館、世良美術館がある。御影、東灘、芦屋、西宮の辺りは、大学の密集している所もあります。大学もひとつのかルチャード・コアですからね。灘生協の生活文化センター、東灘区民センターもいろんな企画をやっていっているでしょう。あの辺りはカルチャード・コアが半分以上形成されていると言

えます。

阪神間の文化施設の面白いところは、比較的近くに位置しているのに管轄の行政が異なっているところです。神戸各区、芦屋、西宮とそれぞれが企画、運営しているので、近所の人があちこちに行くことができる。それと阪神間の美術館は圧倒的に民間のものでしょう。

米花 公共のものはいろいろと規制があつたり、また公平でないといけないですからね。北野のシアター・ポシェットのような民間の、それでいて半分ボランティアみたいな(笑)所を増やしていく取り組みが必要ですね。

武田 行政、自治体はシビルミニマム(最低生活基準)対応型の組織でしよう。しかし、文化はコミュニティ・キシマム(地域目標基準)という豊かさの追求なんですね。そのギャップをうめるため、行政の限界は民間・個人が担つていかなければなりません。公共が担えるものはハード面です。それをどう運営し企画していくかは、それがまさに文化なのですが、民間、個人の提案、知恵が必要です。

小笠原 阪神間のホールを見ていて、ホールマネージャーで柔軟な考え方を持つてるのは、ピッコロシアターとアルカイックホールくらいですよ(笑)。

公共には最低限のハードとネットワークを整えてもらいたい。先程お話をあがつた美術館にしても、あちこち点在していますから、それを回るマイクロバスくらい走らせてもいいんじゃないですか。

米花 皆、部分的にしか知らないでしょう。今日みたいに一度現状を明らかにし、総合的に考えれば、ネットワークなど取り組み方が見えてきます。

★ハードを生かせる、人材の育成が急務

武田 昨日、市立博物館の地下で河東けいさんの感動的な一人芝居を観て來たんですが、この芝居は神戸初演で全国をまわる芝居なんですよ、その割にはP.R.がされていない。先日の神戸国際インディペンデント映画祭にしてもそうです。世界的な審査員をよんでの、賞金500万円という大きな画期的なイベントなのに、意外と知られて

いない。

小笠原 神戸はジャズ発祥の地にもかかわらず、市外からの人への情報が全くない。三宮か北野に情報センターでもあればいいのですが。日本の街で不思議なのはツーリストインフォメーションセンターがないことです。

島田 アーバンリゾートフェアにても、「見に来ただけれど、どこに行つたらいいのかわからない」ですね(笑)。けれどイベント情報や「しあわせ」は確実に増えてきています。

武田 日本人の生活パターンにも問題はありますよ。余暇が増えてもテレビの前で寝転がってるんですから。そういう人達を引っぱり出す、魅力のあることを考えていかなければならないでしょう。

小笠原 今日本には、これから芽を出そうとするアーティストの、食べていく手段がないですね。モンマルトルの画家の卵やヨーロッパの街角の音楽家の卵などには、一寸した稼ぎをする機会がありますね。日本では音楽教室の先生や家庭教師になれば良い方です。

島田 アーティストにしてもプロデューサーにしても、「人」ですからね。水戸芸術館なら吉田秀和というプロデューサーを大切にしていますし、そのハードを誰がどういううビジョンで育てるか、人に対する思い切った投資をしていかないと。多目的なシビルミニマムのやり方はなかなかうまくはいかないでしょう。新神戸オリンエンタル劇場は鷲川幸雄が芸術監督になるということで、随分期待しましたが、年3回でしょう。ホームシアターにはなりませんでしたね。

武田 一方ではタカラヅカのようにプロデューサーもいて、企画し、全国に向けて発信しているソフトもある訳です。例の、神戸をコンベンション都市に、という計画にしても、コンベンションホールを造るだけではダメで、国際会議をよび、企画し、運営する力のある人を育てないと。

米花 兵庫県芸術劇場、ピッコロ演劇学校、宝塚高等学校の演劇科と、民間ではできないソフトを創っていこうと

いう動きもあります。

島田 人にまつわることが一番難しいですね。パリで新オペラ座ができる時、指揮者を誰にするかということが大問題になり、それが新聞のトップを飾るんですよ。結果よりもそういうプロセスがソフトを育てるんです。ルーヴルのピラミッドにしても造る前から喧嘩説がすべての文化なんですね。

以前、日経新聞に「ミュージアムシティ神戸」と大きく載りましたね。神戸市もいよいよミュージアムに力を入れるのかと嬉しく思っていたら、それは博物館のことだったんです。英語で言うと美術館も博物館も同じミュージアムですからね(笑)。美術館ではなく博物館というところに神戸市の本質を感じます。それも勿論大切だけれど、美術に関心のある者としては、ファンション、デザイン、アート情報の先端都市として、どうして市立美術館の構想が起こってこないのかと、寂しくもありますね。

米花 三田にできた『人と自然の博物館』には研究所がついているんです。ここは残していくだけの博物館でなく、前向きな姿勢が感じられますよ。

島田 そういう形が望ましいですね。

米花 姫路には文学館ができました。核に城があつてその周りに市立美術館、県立博物館、城郭センター、そして文学館、好古園ができる、まとまった文化的な雰囲気が出ていますよ。それぞれのハードに友の会、研究会がありますし、姫路獨協大の方が神戸新聞と一緒にになって、播磨学の本を4冊も出版しています。ハードとソフトがうまく結びついて、いい活動をしていますね。姫路くらいの規模がやりやすいんでしょうか。

武田 かたると風格ができますね。神戸も市役所や旧居留地界隈をそんなふうにできれば。日本郵船の建物をアーバンリゾートエリアで貸りられたのだから、あれを美術館やホールにするとか。姫路美術館の良いところは、自分のところ発、全国まわしの企画のできているところです。相當な芸員と研究機関がないと、できないこと

ですよ。

島田 人材に投資するという意味でも、神戸発の文化を創らなければ。買ったものを右から左へ流して見せて喜ぶというのは、文化の消費でしかありません。

★各地はカルチャー・コアといかに取り組んでいるか小笠原 街を何で売り出すかですね。山梨の県立美術館はミレーの絵を入れて、ミレーに関する多くの資料を揃え、新聞に取り上げさせた。一躍有名になり、ミレーの研究をしようとしたら日本ではそこへ行くばかりいません。こういう、人を集めるための街としての戦略が必要ですね。

神戸はジャズの発祥の地です。ジャズで売るという手がある。現在の情報は市内と近郊の人を対象にしていますが、それでは経済的に成り立ちません。ブロードウェイのミュージカルや東京の音楽活動が売れるのは、おのぼりさんがあるからですよ(笑)。ジャズに興味があるなら神戸へ来い、小磯良平や洋画に興味があるなら神戸へ

来い、と市民のためだけでなく、神戸を売るためのソフトとハードを考えなければ、必ず成功すると思います。

島田 カルチャー・コアプランには土地問題など、行政に頼らないと難しい部分が多いですが、福岡には三菱地所と明治生命のやっている「イムズ」というビルがあります。地下と2階まではショッピングゾーン。3階から8階はコミュニケーションボイントとして、九州電力、地元のガス会社、国際交流協会などが情報発信のためだけのショールームをもっているんです。九州電力は電力関係のPRをし、国際交流協会は外国人のサロンを作り就職活動を行なっています。9階から11階はイベントホール、ギャラリー、レストランです。完全な民間なので

米花 福山の松永には履物博物館があります。明治の初めに、松永の下駄メーカーの4代目が、履物がだんだんサンダルに変わっていくのを見て、下駄文化を残していくことを形成しているんです。

こうと、造ったんです。来年6月には隣におもちゃ博物

館もできるそうです。

武田 関西電力が旧居留地に建物を建てるんですが、その時、買い取つてある北野のランプ館にあった物をそこで展示することになったんです。企業がメセナとして、自分のところに関連のあるものをテーマにどんどん博物館を造つていって欲しいですね。栄町通りの大林組、なんかが、建築に関するものを造つてくれませんかね。あと、神戸は洋家具発祥の地ですから、洋家具博物館も欲しい。永田良介さんあたりにお願いしたいです。古代のものから、中国のものから、世界的に有名な家具をコレクションし、同時に家具を作る工房、修理をする職人を見せてほしい。パンでもそうでしょ。作っているところを店頭で見せれば欲しくなりますよ(笑)。ファンションも同じです。有名ブランドのブティックを1階に出すなら、その上にそれをつくっている工房もあってほしい。それが文化ですよ。柴田音吉さんが次に本社を建てる時は、そうされるそうで、楽しみなんですが。

★神戸を“憧れの文化都市”にすることを考える

武田 カルチャーセンターがどういう人達で成り立つてゐるかと言うと、年配の人や子育ての終わった主婦ですよね。今は労働時間が短縮される方向にありますから余暇時間のできた大人のための、アダルトカルチャー・コアがほしいです。難しい話もウイスキーを飲みながらなら、スッと入ってきますよ(笑)。そういうカカルチャーを利用する側のコア、つまり面白いカルチャーを紹介するナビゲーターも必要ですね。あの芝居は見ておくべきだよとか、すごいミュージシャンがやって来ますよ、とか。コアはハードとソフトの接点であり、情報発信者とユーザーの接点もあるべきです。

島田 アーバンリゾートフェアを使用した施設、情報網を整備して、今後もうまく活用したいですね。

武田 街中が舞台、というのが今までの「地方博」とは違うところですからね。しかしやはり神戸の玄関口は、アーバンリゾートフェアのインフォメーションセンターのある三宮駅前だと思うんです。あの周辺を是非オシャレに

残つておきたいですね。今のままでは戦前の跡地がそのまま残つておきたいですね。これは神戸の人間として非常に恥ずかしい。車で来る人にとつての神戸の玄関は京橋インターですね。高速を降りると、フライアーロードと京橋にあります。そこに何があるかと言うと、一方は駐車場で、もう一方には鉄塔がドーンと立つてます。この前外国人を連れて来たら、「あれはアーミーの施設か」と尋ねられましたよ(笑)。外から来る人のためにもっと入口に気を配つて、そこから文化ゾーンにうまく導いてほしいです。

米花 神戸ほどの街はなかなかありませんよ。神戸に住んでいる個人、拠点にしている企業が、お互いに言わず語らずとも自然に神戸を世界に誇れる文化都市にしようと、行動を起こしてほしいものです。

小笠原 北野の山本通りが、その良い例ですね。ニューヨークのグリニッヂビレッジなんか、古いビルに芸術家達が住みついて、次第に良い雰囲気になつてゐる街です。

武田 海岸通りから旧居留地にかけてのエリアをリブ・インにしたいです。行政にやらせると、まず低所得者のための住居から先に取りかかりますよね。シビルミニマムの視点からいえば、それは当然のことで、我々が行政に求めているものもあるんですが、私としてはこのエリアに、低所得でも住める、アーティストのためのリブ・インを作つてもらいたいんです。それともうひとつは

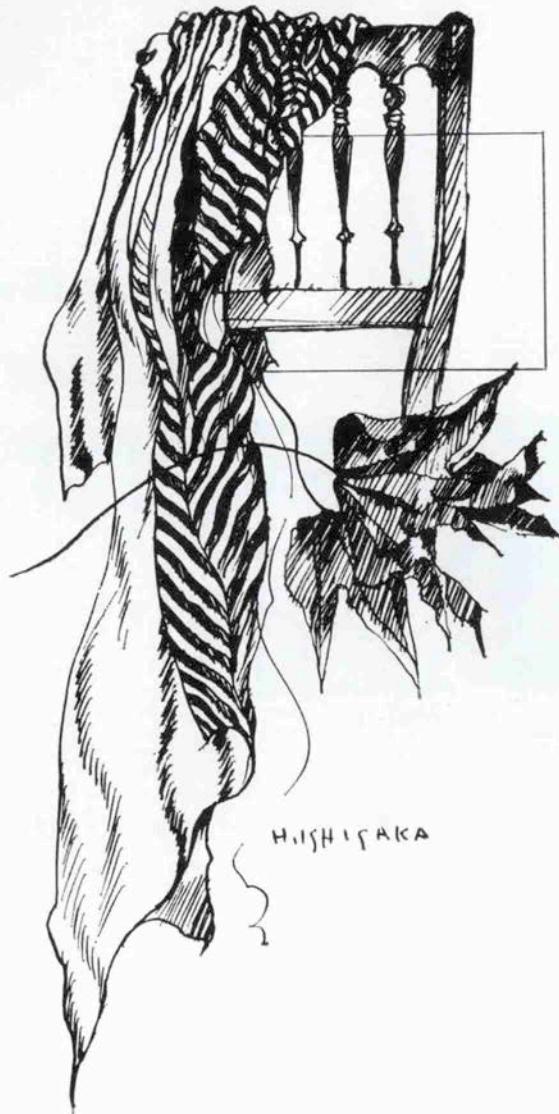
全く逆の発想なんですが、金持ちの住むところ。ヨットハーバー付きのタウンリゾートとかね。頑張つて、いつかはあそこに住むぞ!というようなステータスシンボルを。神戸がアーティスト達にとって、住み、創造していく場としても、発表の場としても、とにかく憧れの街になるように、行政と民間が一致団結して取り組んでいかなければなりません。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「ファッショントリトリー神戸を考える」の企画は以上各社の提供によるものです。

KOBE FASHION SPOT

★毎日を花のある生活で

生花のようでありながら、でも枯れることのないシルクフラワー。最近はバラやフリージアなど

の花だけでなく、ユーカリ、ボップなどグリーンもあり、一層変化が

楽しめる。このシルクフラワーとアートフラワーを扱う素敵なお店

「フラワーマーケット芦屋」を芦



ドアリースもいろんな形が…

屋の閑静な住宅街にフラワーコーディネーター中山都美さんが4月にオープン。「ブライダルブーケだけでなく、もっと日常生活で楽しんでもらいたい」ということで「マンションのドアでも暖かく演出するドアリースがおすすめ」教室も開かれているので興味のある方は参加されてはいかがでしょうか。

■ドアリース教室 每月第2・4金曜日
アートフラワー教室 毎月第1・3火曜日
フラワーマーケット芦屋

芦屋市船戸町6-19
ハウゼ芦屋1F

電話 (0797) 34-6035

★あどけない瞳のテディベア

テディベアはメーカー・ズベア、

アーティストベア、アンティークベアの三種類に分けられる。でも

どれも可愛いさは比べられない。

そんな可愛いテディベアを扱っているのがテディベア・ミュージアム。

當時3~400点ものテディベアを置いており、手作り用の材

料やプローチ、ポストカードなど

テディベアグッズも充実してい

る。お店の小野さんも「テディベ

アは悲しみ、喜びを共感できる」とのこと。また、お気に入りのオ

リジナルをオーダーメイドでテデ

ィベアアーティストの和田美幸さ

んに作ってもらえる。そして、ジ

ヤパンテディベアファンクラブの

事務所が2Fなので日本中のファ

ンとの交流が楽しめる。ファンク

ラブでは、年2回東京と神戸でア

ーティストを招いて講習会を開くなどイベントを催している。

■テディベアがいっぱい

■テディベア・ミュージアム
ジャパンテディベアファンクラブ
☎ (0797) 23-5533
ファンクラブについてのお問い合わせも受け付けられています。

★タイガースファン必需品?! メガホン、はっぴは今や常識といふ方に最後のキメはやはり足元。デザインは4種類あり、どれも

フルットシューズなのではきやす

い。この靴を㈱ファイブワンが発売している。今のところ、残念ながら一般小売店では扱っていないので通信販売のみとなっている。



デザインは4種類



テディベアがいっぱい

■㈱ファイブワン
神戸市長田区日吉町3-1-1
☎ (078) 641-6135
■タイガースシューズを10名様にプレゼント
トノ官製はがきにサイズを明記の上、お申込み下さい。尚、デザイン・色はお任かせ下さい。締切7月31日必着。当選者には当選はがきを発送しますので、神戸子編集室までお越し下さい。



90th ANNIVERSARY

Merci Bonheur
tel: 078-475-0001



serizawa
KOBE

本店

神戸市中央区三宮町3-1-8

TEL. 078-331-1695

●レディス●

本店

さんプラザ店

センター街店

さんちか店

P-4ショップ

●メンズ●

メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO

KYOTO・HIMEJI・GIFU

お洒落のための特典いろいろ。

1枚のカードから。

セリザワカード



色彩の誘惑。
'93 SUMMER COLLECTION



ソフトな感性が必要な時代に コンピュータの技術者も

● 小室豊允の『夢対談』
“新世紀を語る”

福岡富雄
小室豊允

（学校法人
コンピュータ総合学院
理事長・校長
姫路獨協大学教授）



小室豊允教授



福岡富雄理事長・校長

高度情報化社会に
対応できる本格派
技術者の養成を

小室 この度の藍綬褒章受章、おめでとうございます。

福岡 ありがとうございます。教育、社会事業、産業等の分野で、公共の利益のために功績があつた者に与えられる記章だということ

で、非常に光榮に思っています。

小室 福岡先生の学校が長年取り組んでいた情報工学、情報処理分野の活躍のフィールドが益々広がってきていますね。政府でも最近、新社会資本の整備を進めるところでも、もう道路や橋だけではなく、情報提供や情報処理を

することができる社会資本だという認識を持つっています。

福岡 情報化の波も、現在高度情報化社会へと移行し、情報処理技術もまた一層の広がりを見せ、技術者の業務内容も多種多様となつてきています。こういった新しい動きに対応するために、我々もカリキュラム内容や、コースの設定等の見直しを進め、実社会から期待されるスペシャリストを育てていこうと努力を続けています。

小室 今まで日本の企業が学生を採用する場合、偏差値で選抜をしているようなことがあつたわけですが、これからは個性値と言いますか、企業にとり質の高い個性を持つ人間を探していくというふうに変わってくると思います。そして、優れた感性を持った人間

が求められるでしょう。特に情報処理技術者など、機械をさわることとは一見相反するようですが、人間としての感性を磨くことが重要にならざるをえます。

福岡 ええ。そしてまた、感性、創造力といったものが、技術を持つことで更に豊かなものになつていくということもあると思いますね。私がコンピュータを始めた30年前は、その利用も今と比べると、まだまだ限定的なものでしたし、感性とはあまり関係のないところのものでしたが、今は違います。コンピュータと人間との関わり方も大きく変わってきたということですね。

それにしても、コンピュータの

世界の進歩というものは速すぎて我々も中長期計画を立てようとにくいといったこともあります。

小室 本当に社会も技術も進歩のスピードが速くなりましたね。昔日進月歩と言つていましたが、今はまるで、分進秒歩と言わなくてはなりませんね。（笑）

国家試験合格率日本一に そして、生涯学習留学生 教育に対する取り組みを

小室 今年創立35周年を迎えたということですが、次の新しいステップとしては、どのような展開をお考えですか。

福岡 30周年を節目に施設設備の充実が一段落したと考えております。

その後、内部充実ということです。教職員のレベルアップや活性化、教育内容の一層の充実、ということに一同励んでおります。今までの蓄積の上に、いかに新しい発展をしていくか、努力を重ねていかなければなりません。具体的には、国家試験の合格率を更に伸ばし日本一を目指すなど、規模を拡げるといった方向とはまた違う、独自の個性、特色というものをより明確にもつた学校にしていきたいと考



情報工学科
情報処理学科
情報総合学科
情報ビジネス学科



■学校法人 コンピュータ総合学園
神戸電子専門学校
神戸市中央区山本通1-6-35 ■650 □(078)242-0014㈹

えています。
小室 生活の情報化といいますか情報処理というものが、生活レベルで様々に要求されるようになつてきている昨今、情報関連分野の教育に対する期待も益々高まりますね。また生涯学習というものが広がりを見せてきてますが、こういった地域のニーズに応えていくことが、また専門学校には期待されていくとおもいます。
福岡 生涯学習を具体的にどう展開していくかということも、私が取り組みを模索している大きなテーマです。そしてまた留学生をいかに受け入れていくかということも、これから大きな課題であると考えています。

（神戸電子専門学校にて）



左からマリンメイトの辻本利佳さん、構屋享子さん、江口局長、小泉編集長

★アーバンリゾートフェアインタビューアーバンリゾートフェア
URBAN RESORT FAIR KOBE'93
新しい都市魅力の創造
会期:平成5年4月▶9月

人・港・海を結ぶ、 ウォーターフロントの 街づくり

★アーバンリゾートフェアインタビューアーバンリゾートフェア
URBAN RESORT FAIR KOBE'93
新しい都市魅力の創造
会期:平成5年4月▶9月

江口 正秋さん

（神戸市港湾局長）

聞き手
小泉 美喜子

（本誌編集長）

アーバンリゾートフェア神戸'93も夏のメインイベントで一気に盛り上がりを見せようとしています。7月20日海の記念日を前に、神戸市港湾局長の江口政秋さんにインタビューしました。小泉 これから、ウォーターフロントでのアーバンリゾートフェアの催しが多くなるようですが。江口 シップパレード、海上花火大会などイベントが目白押しです。市民の方に港・ウォーターフロントに親しんで頂ける、一番のチャンスですね。

★市民が港・神戸に親しみを持てるようになります。

小泉 以前に比べて市民が港に近付けるようになったように思いますが。江口 商域としての港の要素が強かったので、垣根がありましたがあ少しでも取り除こうという努力がウォーターフロントの開発につながっているわけです。

メリケンパークをはじめ、ハーバーランドなど港湾施設を広く開放、開発することが港と市民を近づけることになっていると思います。小泉 ハーバーランドのモザイク

からの眺めもすばらしいですね。

江口 そうですね。中突堤もそれには刺激を受けて、先端にオリエンタルホテルも出来ます。

小泉 ポートアイランド、六甲アイランドも、住む、という魅力や

ショッピングゾーンとしての魅力も加わっていますね。人工島の中でも、生活の場、としても確立されておりまし、後に出来た六甲アイランドもポートアイランドとまた一味違った魅力を評価されている

ようですね。

江口 そうですね。人工島の中でも、生活の場、としても確立されておりまし、後に出来た六甲アイ

ランドもポートアイランドとまた一味違った魅力を評価されている

ようですね。

★これから神戸ウォーターフロント

小泉 これから、港がどのように変わっていくのでしょうか。

江口 もともと神戸は港から発展した街なので、港イコール街のイメージとなっています。自然の恵みも大きく、瀬戸内海の穏やかで住みよい気候、緑の六甲山を背景として、それに映える白い市街地・港、青い海のコントラストが

★これから神戸ウォーターフロント

小泉 これから、港がどのように変わっていくのでしょうか。

江口 もともと神戸は港から発展した街なので、港イコール街のイメージとなっています。自然の恵みも大きく、瀬戸内海の穏やかで住みよい気候、緑の六甲山を背景として、それに映える白い市街地・港、青い海のコントラストが

小泉 国際貿易港といえば、姉妹港・友好港との国際交流も今年は多いようですが。

江口 アーバンリゾートフェア中

小泉 さらに大きな開発ということで神戸港沖空港もありますが、江口 航空産業が発達するまでは

よい景観を生みます。さらに、港の景観を良くすることは市民の港に対する評価を高め、港で働く人たちもプライドを持ち、優秀な人が集まるという相乗効果を生み、景観をパックアップして、美しいショッピングゾーンとしての魅力も加わっていますね。

江口 そうですね。人工島の中でも、生活の場、としても確立されておりまし、後に出来た六甲アイランドもポートアイランドとまた一味違った魅力を評価されている

ようですね。

★これから神戸ウォーターフロント

小泉 これから、港がどのように変わっていくのでしょうか。

江口 もともと神戸は港から発展した街なので、港イコール街のイメージとなっています。自然の恵みも大きく、瀬戸内海の穏やかで住みよい気候、緑の六甲山を背景として、それに映える白い市街地・港、青い海のコントラストが

小泉 国際貿易港といえば、姉妹港・友好港との国際交流も今年は多いようですが。

江口 アーバンリゾートフェア中

小泉 さらに大きな開発ということで神戸港沖空港もありますが、江口 航空産業が発達するまでは

よい景観を生みます。さらに、港の景観を良くすることは市民の港に対する評価を高め、港で働く人たちもプライドを持ち、優秀な人が集まるという相乗効果を生み、景観をパックアップして、美しいショッピングゾーンとしての魅力も加わっていますね。

江口 そうですね。人工島の中でも、生活の場、としても確立されておりまし、後に出来た六甲アイランドもポートアイランドとまた一味違った魅力を評価されている

ようですね。

★これから神戸ウォーターフロント

小泉 これから、港がどのように変わっていくのでしょうか。

江口 もともと神戸は港から発展した街なので、港イコール街のイメージとなっています。自然の恵みも大きく、瀬戸内海の穏やかで住みよい気候、緑の六甲山を背景として、それに映える白い市街地・港、青い海のコントラストが

小泉 国際貿易港といえば、姉妹港・友好港との国際交流も今年は多いようですが。

江口 アーバンリゾートフェア中

小泉 さらに大きな開発ということで神戸港沖空港もありますが、江口 航空産業が発達するまでは

たが、今は空港により多くの人が集まるので、神戸港に二面性を持つたせると、それそれに相互作用があると思います。

小泉 その前、来年には関西国際空港が完成するわけですね。

江口 関西国際空港へも直線距離にすると大阪市内からよりも近く、ジェットフォイルを利用する事30分以内で行くことが出来ます。空港へのゲートウェイの役割も果します。空と海の玄関になります。

小泉 港だけでなく、空へも夢が広がりますね。マリンメイトの方はお仕事、いかがですか。

桶屋・辻本 神戸の顔である、港でお仕事ができて、誇りに思つております。また、色々な方とで会えますので楽しく仕事ができます。さらに多くの方とで会えることを楽しみにしております。

神戸の“夏”を ウォーターフロントで楽しむ



年々人気の高まる「みなとこうべ海上花火大会」

今年は8月7日(土)に開催

★イベントスケジュール★

1.SUMMER 船・船・船大集合

7月17日(土) 18日(日) / 新港第1突堤

2.KOBE シップバード

7月30日(金) ~ 8月1日(日)

メリケンパーク ~ 新港突堤前面海上

3.みなとこうべ海上花火大会

8月7日(土) / メリケンパーク前面海上

4.メリケンミュージックフェスティバル

8月13日(金) ~ 15日(日) / メリケンパーク

ゲスト/鈴木トオル他

5.メリケンフィッシャーマンズワーフ

8月20日(金) ~ 22日(日)

メリケンパーク及び前面海上

6.KOBE ハーバーワーク

9月19日(日) / 神戸港ウォーターフロント

神戸市港湾局経営開発部
振興課

078(322)5670(直通)

鈴蘭の花に包まれて…



衣裳制作／株式会社大丸神戸店ジバンシイ・オートクチュール・サロン
頭飾り・コサージュ／佐藤悦枝（オリジナルフラワー・ミモザグループ主宰）
ブーケ／寺尾啓子（フラワーデザインHANA・AU）
撮影／フォトアトリエ辻

ジバンシィのイヴニングドレス

大西 節子 〈大丸神戸店ジバンシィサロン〉



ジバンシィのイブニングドレスをお召しの中村祥様と
御主人の中村寿孝様



子供の頃の様様がジバンシィのドレスでピアノの会に

芽生。そして育む結婚式の日。だれもが新婦に「美しい」と花吹雪を捧げ、立派に、成長なされてーと、その初々しくも気品あふれる姿に感嘆する。三木茂夫・博子様のお嬢様が私に初めてドレスをお譲り下さったのは、二十年も前になるでしょうか、ピアノの演奏会のためでした。それは愛らしい、まだお母様の胸の高さにもとどかない、お小さい時でした。お母様は、ユーベル・ド・ジバンシィの大ファンでいらっしゃいます。ジバンシィが三十周年に来日した折、京友禅の千總にヘビーシルクの別染めを依頼し、ジバンシィの手法でドレスをお譲りなさい、ジバンシィと今は亡きオードリー・ヘップバーンの夜会に出席をお願い致した思い出もございます。

このドレスは、昨年の秋、製作にかかり、まずは、布地の選定から、ジバンシィは常に「美しい布地からインスピレーションを受け、魅惑的な布地が、私の心を捕えて止まない」と話していますが、このドレスのガザールと呼ばれる張りのあるシルクの布地がとても好きで、毎シーズンコレクションに出品致しております。この大切な布地は、今年に入つてパリのジバンシィ社より、直接取り寄せる成功致しました。六ヶ月の時をかけて入念に製作致しました。お父様のお話ではその昔、三木様の福井県の工場で、「ガジル」といって広巾で織らせ、フランスへ輸出をなさっていたと聞かされ、私は日本の織物文化のすばらしさを認識すると共に、花嫁との深い縁を感じずにはいられませんでした。時代の波には致し方なく、四十年も続けて来たパリーのオートクチュールの幕を、この秋神戸の大丸から閉じることになりました。

最後に、今までにない一番大きな仕事を三木様から与えていただきたいことに対し、今、私は感謝の念でいっぱいです。

この秋、ジバンシィが創作四十周年をもつて神戸に来日致しますが、市立博物館での開催であつてほしいのです。パリーガリエラ宮（モードとコスチュームの美術館）でのイメージを大切にしたく思う一人でございます。